

元気いっぱい 笑顔いっぱい
 あいしょうキッズ



秦川愛児園 うめぐみ（4歳児クラス）

元気いっぱいのうめぐみ13名の子どもたち。友だちと一緒に砂遊びをしたり、虫探しをしたりと園庭でいろんな遊びを楽しんでいます。みんなで思い出をいっぱい作ろうね！

うめぐみ担任 中村 智美、増田 璃音



愛知川保育園そらぐみ（5歳児クラス）

サッカーや鬼ごっこなどいつも園庭を元気いっぱい走り回っている、そらぐみ15人のかわいい子どもたち。毎日のプール遊びをとっても楽しみにしています。保育園最後の1年、友だちと一緒に「からだ」も「こころ」も大きくなって、素敵な思い出をたくさん作ろうね!!

そら組担任 鈴木 恵美子、土居 カヨ

わたしのギャラリー



愛知川小学校3年 福井 さくらさん



わたしは、動物園と水ぞく館を作りました。がんばったのは、ハムスターの家のまどを透明にしたことです。生き物をいっぱい作りました。



愛知川小学校3年 西岡 菜緒さん



わたしは、ゆう園ちを作りました。がんばったのは、ジェットコースターとメリーゴーランドです。かんらん車がうごくようにくふうしました。



秦荘西小学校6年 瀧波 舞花さん



背景にこわさが出るように、自分の手形をつけました。ひとつ目小ぞうの目が落ちそうになるので、しっかりとっつけるのに苦労しました。



少年センターだより

「心の声ってどんな声？ ～耳を傾けてみましょう～」

新年度が始まり数カ月が経ちましたが、新しい生活に少しずつ慣れてホッとしている生徒の皆さんや保護者の方々も多いと思います。

子どもたちにとって、年度が替わり担任やクラスメイト、周りの環境が変わることは、大人が想像する以上にドキドキすることです。「新しい友だちできるかな」「担任の先生優しいかな」「勉強大丈夫かな」など、心配していることを言葉で表現できる子もいますが、自分の思いを言語化できずにモヤモヤしながら過ごす子も多くいます。日常の心配や緊張、不安は、そのままの形ではなく、ホッとできる家庭の中で「だるいなあ」「疲れたあ」「イライラする」「うるさい」「放っておいて」などの言葉で表されることもあります。子どもからこのような言葉が聞かれた時は、「疲れているんだなあ」「よく頑張っているなあ」「家でゆっくり過ごして明日また元気に過ごしてくれたらいい

な」と受け止めることによって、少し気持ち的に余裕をもって、子どもと接することができるかもしれません。

この時期は、周りで見守っている保護者の方々にとっても、新学期の準備やお弁当作りなど変化が多く、大変な時期でもあります。リフレッシュできる時間を作る、家族皆が十分な睡眠時間を確保する、互いに安心できる声掛けをする（例えば「昨日より今日、今日より明日、段々ラクになっていくから大丈夫」など）を、家庭内で意識的におこなっていただけたらと思います。

もう少しで夏休みです。生活のリズムが崩れないように気を付けながら、安心・安全を確保しつつ、楽しい夏休みをお過ごしください。

愛荘町少年センター 小泉臨床心理士

☎愛荘町少年センター ☎0749-42-8018